

# イエス様のまなざし

---

シリーズ～続 福音の力～

2021/3/7

# 最初に召された弟子

---

- 最初に召された弟子
  - 「イエスはシモンに言われた。『恐れることはない。今から後、あなたは人間をとる漁師になる。』そこで、彼らは舟を陸に引き上げ、すべてを捨ててイエスに従った。」5:10-11
- 「ペトロ」はイエス様がつけたニックネーム
  - 「こうして十二人を任命された。シモンにはペトロという名を付けられた。」マルコ3:16

# 特別な弟子

---

- 大切な場面でイエス様のお供をした
  - 会堂長の娘の癒し・変貌山・ゲツセマネ(マタイ)
- 湖の上を歩こうとした
  - すると、ペトロが答えた。「主よ、あなたでしたら、わたしに命令して、水の上を歩いてそちらに行かせてください。」マタイ14:28
- イエス様をメシアであると告白した
  - イエスが言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」ペトロが答えた。「神からのメシアです。」ルカ9:20

# 特別な弟子、だが**軽率**

---

- 大切な場面でイエス様のお供をした
  - 会堂長の娘の癒し・変貌山・ゲツセマネ(マタイ)
- 湖の上を歩こうとした
  - すると、ペトロが答えた。「主よ、あなたでしたら、わたしに命令して、水の上を歩いてそちらに行かせてください。」マタイ14:28
- イエス様をメシアであると告白した
  - イエスが言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」ペトロが答えた。「神からのメシアです。」ルカ9:20

# 特別な弟子、だが**軽率**

- 大切な場面でイエス様のお供をした
  - 会堂長の娘の癒し・変貌山・ゲツセマネ(マタイ)
- 湖の上を歩こうとした

しかし、強い風に気がついて怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫んだ。

- イエス様をメシアであると告白した

すると、ペトロはイエスをわきへお連れして、いさめ始めた。「主よ、とんでもないことです。そんなことがあってはなりません。」

## ルカ福音書22章31～34節

---

「シモン、シモン、サタンはあなたがたを、小麦のようにふるいにかけることを神に願って聞き入れられた。しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」するとシモンは、「主よ、御一緒になら、牢に入っても死んでもよいと覚悟しております」と言った。イエスは言われた。「ペトロ、言っておくが、あなたは今日、鶏が鳴くまでに、三度わたしを知らないと言うだろう。」

# イエス様の警告

---

- サタンの願いが聞き入れられた
  - 「ペトロ(岩)」ではなく「シモン(葦)」と呼びかける
  - 「ふるいにかける」: 選り分ける
  - サタンの誘惑も神の許可なしには起こらない
- イエス様の祈り
  - 「信仰がなくならないように」: 神への信仰こそ重要
- その後のケア
  - しかし、つまずいた経験が他の弟子たちを励ますのに役立つ、と言われた

# ペトロの啖呵(たんか)

---

- 死んでも良いと覚悟している！
  - 「主よ、御一緒になら、牢に入っても死んでもよいと覚悟しております」
  - この時には本気でそう思っていたペトロ
- イエス様の予告
  - 「ペトロ、言っておくが、あなたは今日、鶏が鳴くまでに、三度わたしを知らないと言うだろう。」
  - イエス様はペトロがつまずくことをご存じだった

## ルカ福音書22章54～62節

---

人々はイエスを捕らえ、引いて行き、大祭司の家に連れて入った。ペトロは遠く離れて従った。人々が屋敷の中庭の中央に火をたいて、一緒に座っていたので、ペトロも中に混じって腰を下ろした。するとある女中が、ペトロがたき火に照らされて座っているのを目にして、じっと見つめ、「この人も一緒にいました」と言った。しかし、ペトロはそれを打ち消して、「わたしはあの人を知らない」と言った。少したってから、ほかの人がペトロを見て、「お前もあの連中の仲間だ」と言うと、ペトロは、「いや、そうではない」と言った。

---

一時間ほどたつと、また別の人が、「確かにこの人も一緒だった。ガリラヤの者だから」と言い張った。だが、ペトロは、「あなたの言うことは分からない」と言った。まだこう言い終わらないうちに、突然鶏が鳴いた。主は振り向いてペトロを見つめられた。ペトロは、「今日、鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言うだろう」と言われた主の言葉を思い出した。そして外に出て、激しく泣いた。

# ペトロの失敗

---

- ペトロは捕らえられたイエス様について行った
  - 「もう一人の弟子」も一緒だった(ヨハネ福音書)
  - 他の弟子は逃げてしまったのだろうか？
- 何くわぬ顔で火のそばに腰を下ろした
  - それが失敗だった
- 1度目の否定
  - 「ある女中が、ペトロがたき火に照らされて座っているのを目にして…「この人も一緒にいました」と言った
  - しかし、ペトロはそれを打ち消して、「わたしはあの人を知らない」と言った。

# ペトロの失敗

---

- 2度目の否定
  - ほかの人がペトロを見て、「お前もあの連中の仲間だ」と言う
  - ペトロは、「いや、そうではない」と言った。
- 3度目の否定
  - また別の人が、「確かにこの人も一緒だった。ガリラヤの者だから」と言い張った。(訛りがあった)
  - だが、ペトロは、「あなたの言うことは分からない」と言った。

# イエス様のまなざし

---

- 3度目の否定の言葉の直後、鶏が鳴く
  - 「まだこう言い終わらないうちに、突然鶏が鳴いた」
- イエス様のまなざし
  - 「主は振り向いて**ペトロを見つめられた。**」
  - イエス様は不当な尋問を受けながらもペトロのことを気にかけておられた
- ペトロの号泣
  - 「ペトロは、『今日、鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言うだろう』と言われた主の言葉を思い出した。そして外に出て、激しく泣いた。』

# つまずきを成長に

---

- イエス様はペトロの失敗をご存じだった
  - もし警告がなければペトロはどうなっていたらう？
- イエス様は弟子たちのために祈られた
  - 「わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。」
- イエス様は常に弟子のことを思っておられた
  - 「イエスは**この視線の中に愛情と許しの無限の宝をこめた**」(モーリヤック)
- 失敗したからこそ良いリーダーとなれたペトロ
  - 「だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちをカづけてやりなさい。」